

消防団充実強化に係る取組事例

|         |   |    |                             |           |        |
|---------|---|----|-----------------------------|-----------|--------|
| NO.     | 24 - 8  | 分野 | 1. 加入の促進<br>(5) 機能別団員・機能別分団 | 作成年月      | 令和元年8月 |
| 地方公共団体名 | 三重県 鈴鹿市   |    | 担当課                         | 鈴鹿市 中央消防署 |        |
| 連絡先     | Tel 059-382-9133<br>E-mail <a href="mailto:chuoushobosho@city.suzuka.lg.jp">chuoushobosho@city.suzuka.lg.jp</a>   |    |                             |           |        |
| タイトル    | トップライダーが集結<br>鈴鹿市消防団大規模災害対応団員   |    |                             |           |        |
| 取組の概要   | <p>鈴鹿市消防団では、平成 30 年4月1日に大規模災害時にオートバイでの活動に特化した大規模災害対応団員(以下「対応団員」という。)の活動を開始しました。</p> <p>対応団員の構成は、ロードレース、モトクロス、トライアルのレースで活躍する現役トップライダーも名前を連ね、国際レーシングコース鈴鹿サーキットがある鈴鹿市ならではのものとなっています。</p> <p>発足までの経緯は、平成 29 年7月に鈴鹿市内にある㈱モリワキエンジニアリング専務の森脇南海子氏が発起人となり、災害バイクボランティアチーム「ライドエイド」を結成し、同年 7 月 29 日に開催された鈴鹿8時間耐久ロードレースの場で報道発表しました。</p> <p>その後、消防本部が活動の助言等を行っていた縁から、平成 30 年4月1日に「ライドエイド」のメンバーのうち 18 名が対応団員として任命され、消防団としての活動を開始し、令和元年7月1日には、男女1名ずつが入団し 20 名となっています。</p> <p>活動内容は、オートバイの特性である「迅速性」「機動性」「節約性(省エネ)」を最大限に活かし、自家用バイク及び消防バイクを使用し無線機を携行し被災地で情報収集を行います。</p> <p>それ以外の活動は、必要に応じて、鈴鹿市消防対策部(災害対策本部の下にもうけられた組織のことであり、常備消防も含めた消防活動を指揮している)の指示で、地域住民への情報伝達、避難誘導、被災者の捜索、初期消火、簡易な救助、応急処置及び被災地への物資の搬入等を行います。</p> <p>訓練は、情報収集訓練を中心に実施していますが、「救急法」「消火訓練」なども実施しており、消防団員としてのスキルアップに努めています。</p> <p>また、出初式などの消防イベントに参加し、住民の前で操縦技術の腕前を披露しています。</p> <p>今回の活動開始により団員定数は、455 名から 475 名となり、令和元年7月には、初の女性の対応団員も加わったことから、今後は、オートバイを利用した新たな活動を追求しながら、消防団全体においても更なる発展を目指します。</p> |    |                             |           |        |



出初式において鈴鹿市長, 消防団幹部と記念撮影



収集訓練において市内に出動する団員



情報収集訓練において市内に出動する団員



市民向け消防イベントにてバイク技術を披露



出初式にてバイク技術を披露



出初式にてバイク技術を披露

その他参考情報